

Press Release

報道関係者各位

2020 年 6 月 16 日
シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、アドソル日進株式会社と「シュナイダーAR アドバイザー」の販売パートナーシップを締結し、GIS/AR ソリューションを共同で展開

- アドソル日進の GIS ソリューションとの連携により、地図配信サービスと連動した AR ソリューションを両社で販売、大規模プラント向け GIS/AR ソリューションの提供を展開
- 年間 30 システムのソリューション導入を目標

エネルギー管理およびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、これまで日本国内で提供拡大を続けてきた「EcoStruxure™ Augmented Operator Advisor」(エコストラクチャー オグメンテッド オペレーター アドバイザー) (以下略称、シュナイダーAR アドバイザー)の販売パートナーとして、アドソル日進株式会社とのパートナーシップを締結し、シュナイダーAR アドバイザーをはじめとする EcoStruxure™ をベースとしたソリューション群の、更なる拡販を目指すことを発表します。

シュナイダーAR アドバイザーは、拡張現実(AR)技術により生産現場での保守作業を効率化し、人的ミスを削減するソリューションです。現場でタブレットやスマートフォンをかざすだけで、さまざまなデータへ迅速にアクセスでき、作業効率や安全性の向上、経験や勘に頼らないメンテナンスを実現する、働き方改革・生産性向上のためのソリューションとして注目されてきました。2017 年の日本国内発売以来、企業とのパートナー契約締結を拡大し続けており、今回のアドソル日進社とのパートナーシップで 16 社目を数えます。

アドソル日進株式会社は、エネルギー（電力・ガス）、道路、鉄道、航空、宇宙、防災、情報通信、決済などの社会インフラ・システムや、次世代自動車、医療機器、産業機器などの IoT 製品向けに、大規模基幹システム、クラウド、AI、サイバー・セキュリティ、無線通信、組み込み OS などの先進的な IoT ソリューションを提供する、ICT エンジニアリング企業です。



アドソル日進株式会社 コーポレートロゴ

Page | 1

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

TEL：070-2324-6673

Email：PR-Japan@se.com

Press Release

アドソル日進社の GIS ソリューションは、あらゆる情報のデジタル化と、情報資産の有効活用を促進するソリューションです。大規模プラント全体での作業において、屋外は GPS や GIS、屋内は無線やタグなどを利用した位置情報を活用し、作業導線分析や作業の効率化を可能にします。アドソル日進社とシュナイダーエレクトリックの AR 技術を合わせることで、作業者が持つタブレット端末に対して、プラントレベルでは位置情報を用いた ICT システムによる作業導線分析・作業場所ナビゲーション、作業対象施設・建屋レベルでは、AR 技術を用いた作業効率化・遠隔拠点からのサポート機能などを提供し、マクロとミクロ両方の視点での課題解決を目的とした大規模プラントへのソリューションを展開します。

今後両社の協力体制を加速し、ICT 技術を活用する自動車製造拠点や、広大な敷地を備えた化学プラント・OIL/GAS などのプロセスオートメーション拠点をターゲットに、年間 30 システムのソリューション導入を目指してまいります。



コラボレーションによるソリューションのイメージ

* GIS : Geographic Information System、地理情報システムの略

○製品（シュナイダーAR アドバイザー）についてのお問い合わせ

カスタマーケアセンター TEL:0570-056-800

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

TEL : 070-2324-6673

Email : PR-Japan@se.com

Press Release

アドソル日進株式会社について

1976年の創業以来、東京・大阪・福岡・仙台・米国サンノゼを拠点に、エネルギー（電力・ガス）、道路、鉄道、航空、宇宙、防災、情報通信、決済などの社会インフラ・システムと、次世代自動車、医療機器、産業機器などのIoT製品向けに、大規模基幹システム、クラウド、AI、サイバー・セキュリティ、無線通信、組み込みOSなどの先進的なIoTソリューションを提供する、ICTエンジニアリング企業です。国立研究機関や各大学、国内外企業との提携による、最先端テクノロジーの研究やオープンイノベーションによるデジタルトランスフォーメーション（DX）・IoTへの取り組みも加速させるなど、顧客のDX推進に貢献する活動にも注力しています。

<https://www.adniss.jp/>

アドソル日進のGIS：地理情報システム <https://www.adniss.jp/sunmap/>

Schneider Electricについて

Schneider Electricは、ビル、データセンター、基盤インフラ、産業に向けたエネルギー・マネジメントとオートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進しています。世界100か国以上で事業を展開し、電力管理（低・高電圧およびセキュアパワー）とオートメーションシステムの分野で名実ともに業界のリーダーです。エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供します。当社のグローバルなエコシステムの中で、当社のオープンプラットフォームを活用しさまざまな企業や開発者コミュニティと連携することで、リアルタイム管理や高効率な運用を実現します。私たちは当社をとりまく素晴らしい人々やパートナーに支えられ、そして技術革新・多様化・持続可能性へのコミットメントを通して、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。

www.schneider-electric.com/jp

Discover Life is On

Innovation At Every Level

Follow us on:       

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

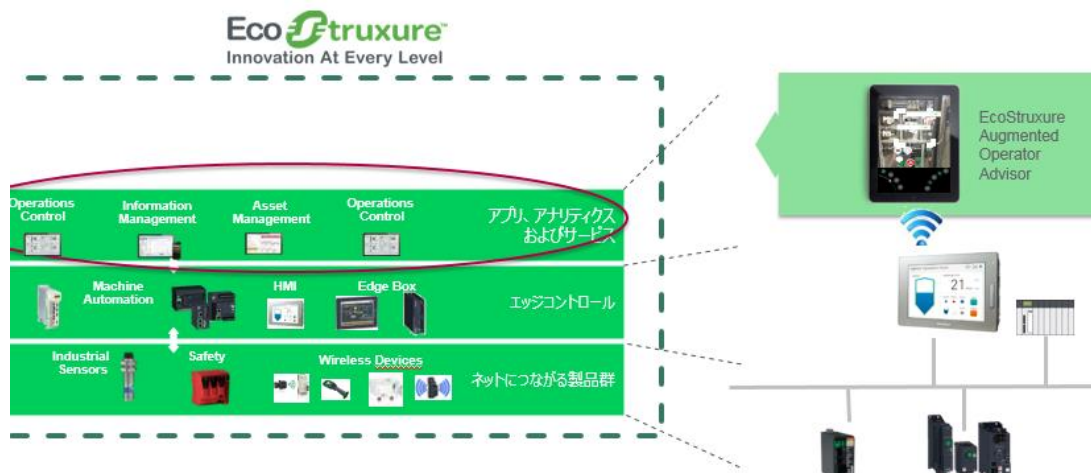
TEL：070-2324-6673

Email：PR-Japan@se.com

Press Release

【添付資料】「シュナイダーARアドバイザー」製品概要

「EcoStruxure Augmented Operator Advisor」(以下略称、シュナイダーAR アドバイザー) は、シュナイダーエレクトリックの IoT プラットフォーム「EcoStruxure (エコストラクチャー)」の、「アプリ、アナリティクスおよびサービス」の層に位置し、コネクテッドデバイスとエッジコントロールからクラウドに収集したデータを、より高度に活用するソリューションです。AR 技術により、タブレットに映し出されたリアルタイムの映像・データと仮想オブジェクトを設備や機器に重ね合わせ、オペレーターや技術者が関連情報を直ちに利用できるようにします。



「シュナイダーAR アドバイザー」の特長

◆現場から関連データに素早くアクセス：

マニュアルや指示書、図面など、メンテナンス時に関連情報に素早くアクセスでき、**メンテナンス時間を短縮**します。

◆プロシーチャー機能：

オペレーターに正しい作業手順を伝えることができ、**人的ミスを削減**。熟練者でなくても同じ作業が可能となり、**保守作業の標準化、人手不足解消**にも貢献します。

◆サブシーン機能：

制御盤を開けずに、盤内や装置内を表示・確認できるため、**設備停止時間の削減、安全性向上**につながります。

◆外部アプリケーションとの連携：

AR から任意のアプリケーションを起動して、点検等の“探す”“調べる”“確認する”にかかる**時間を短縮**できます。

◆リモートエキスパート機能： **【New! 2020 年 3 月アップデート】**

現場映像を遠隔地の担当者と一緒に確認可能。現場空間そのものを共有し、操作位置の指示やアドバイスの書き込みなど、**AR 技術を活かした効果的なコミュニケーション**ができます。

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

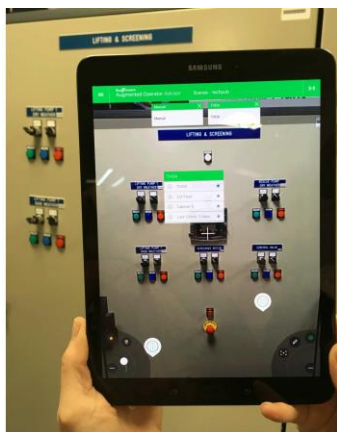
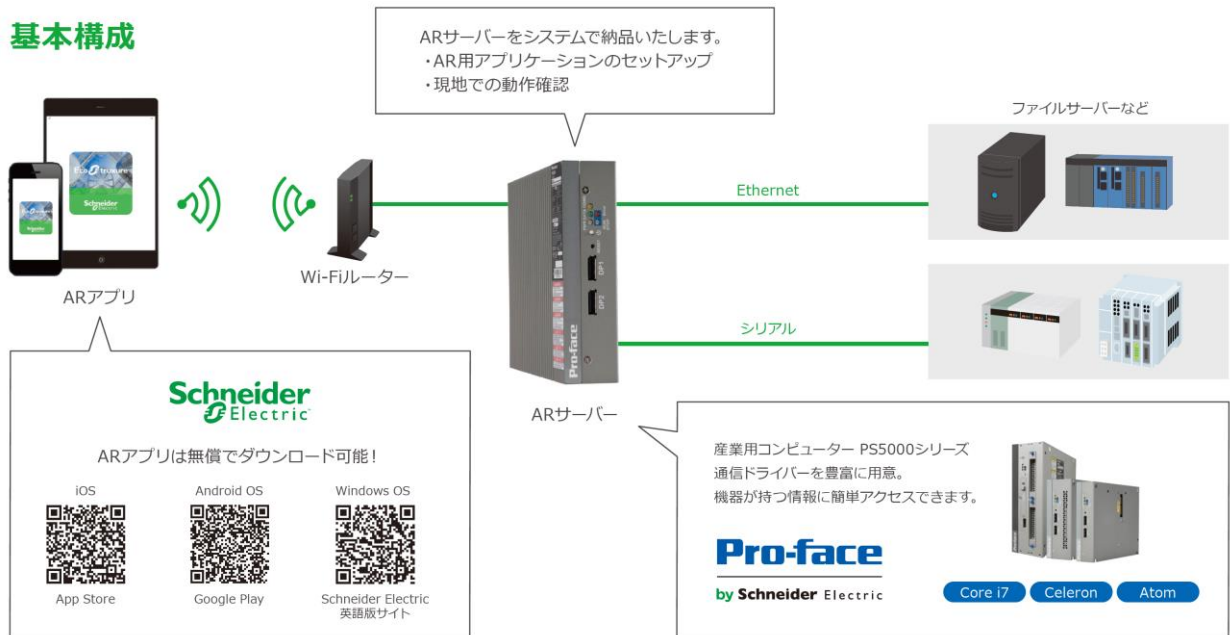
広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

TEL：070-2324-6673

Email：PR-Japan@se.com

Press Release

基本構成



制御盤の保守



屋外の生産現場での活用

シュナイダーAR アドバイザーの詳細については[こちら](#)をご参照ください。

道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：松田 依子（まつだ よりこ）

TEL：070-2324-6673

Email：PR-Japan@se.com